

# 4 if 文

【フローチャートあり】

問題 4\_1

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された得点が 80 以上の場合「合格です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

【実行例 1】

0～100 までの得点（整数値）を入力してください：82

合格です

【実行例 2】

0～100 までの得点（整数値）を入力してください：68

【フローチャートあり】

問題 4\_2

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された 2 つの得点が、両方とも 100 である場合、「満点です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

【実行例 1】

0～100 までの得点（整数値）を 2 つ入力してください

国語の得点：100

英語の得点：100

満点です

【実行例 2】

0～100 までの得点（整数値）を 2 つ入力してください

国語の得点：94

英語の得点：100

**問題 4\_3**

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された2つの得点が、両方とも80以上である場合、「2科目とも合格です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

国語の得点：83

英語の得点：98

2科目とも合格です

**【実行例 2】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

国語の得点：94

英語の得点：71

**問題 4\_4**

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された2つの得点のうち、どちらか1つでも80以上である場合、「合格です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

1つ目の得点：73

2つ目の得点：85

合格です

**【実行例 2】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

1つ目の得点：73

2つ目の得点：67

**【フローチャートあり】****問題 4\_5**

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された得点が60以上の場合「合格です」と、そうでない場合は「不合格です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:33

不合格です

**【実行例 2】**

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:79

合格です

**問題 4\_6**

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された整数値が偶数である場合「偶数です」と、そうでない場合は「奇数です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

整数値を入力してください:4

偶数です

**【実行例 2】**

整数値を入力してください:19

奇数です

**問題 4\_7**

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された 2 つの文字が同じ文字であれば「同じ文字です」と、そうでない場合は「異なる文字です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

文字を 2 つ入力してください

1 つ目の文字 : w

2 つ目の文字 : w

同じ文字です

**【実行例 2】**

文字を 2 つ入力してください

1 つ目の文字 : d

2 つ目の文字 : v

異なる文字です

**問題 4\_8**

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された 2 つの得点が両方とも 60 以上である場合、「合格です」と、そうでない場合は「不合格です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

0~100 までの得点（整数値）を 2 つ入力してください

1 つ目の得点 : 70

2 つ目の得点 : 89

合格です

**【実行例 2】**

0~100 までの得点（整数値）を 2 つ入力してください

1 つ目の得点 : 53

2 つ目の得点 : 89

不合格です

**問題 4\_9**

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された2つの得点のうち、1つでも80以上である場合、「合格です」と、そうでない場合は「不合格です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

1 つ目の得点 : 90

2 つ目の得点 : 74

合格です

**【実行例 2】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

1 つ目の得点 : 76

2 つ目の得点 : 56

不合格です

**問題 4\_10**

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された整数値が100を超える値または0未満の値である場合は「入力値が不正です」と、そうでない場合は「正しい入力値です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:100

正しい入力値です

**【実行例 2】**

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:193

入力値が不正です

**問題 4\_11**

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された西暦の年が、閏年か閏年でないかを判定し、閏年の場合は「閏年です」、そうでない場合は「平年です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。なお、閏年の判定は以下のようになります。

**【判定条件】**

- ・西暦年が4で割り切れる年は(原則として)閏年
- ・ただし、西暦年が100で割り切れる年は(原則として)平年
- ・ただし、西暦年が400で割り切れる年は必ず閏年

**【実行例 1】**

数値 4 桁で西暦を入力してください:1934

平年です

**【実行例 2】**

数値 4 桁で西暦を入力してください:1960

閏年です

## 問題 4\_12

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された得点が 100 である場合は「満点合格です」と、100 未満 60 以上である場合は「合格です」と、60 未満である場合は「不合格です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

## 【実行例 1】

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:100

満点合格です

## 【実行例 2】

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:80

合格です

## 【実行例 3】

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:56

不合格です

## 問題 4\_13

JavaScript / Python / Java / PHP / C 言語

以下の実行例を参考に、入力された得点が 100 を超える値または 0 未満の値である場合は「入力値が不正です」と表示し、100 である場合は「満点合格です」と画面に表示しなさい。また、100 未満 60 以上である場合「合格です」と、60 未満である場合は「不合格です」と表画面に示するプログラムを作成しなさい。

## 【実行例 1】

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:135

入力値が不正です

## 【実行例 2】

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:100

満点合格です

## 【実行例 3】

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:80

合格です

## 【実行例 4】

0～100 までの得点（整数値）を入力してください:56

不合格です

以下の実行例を参考に、入力された 2 つの整数値を比較し、大きい方の値を「値が大きいのは○です」の○に当てはめて画面に表示しなさい。また、2 つの値が同じである場合は「同じ値です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

0～100 までの整数値を 2 つ入力してください

1 つ目の値 : 89

2 つ目の値 : 100

大きい方の値は 100 です

**【実行例 2】**

0～100 までの整数値を 2 つ入力してください

1 つ目の値 : 80

2 つ目の値 : 80

同じ値です

以下の実行例を参考に、入力された 3 つの整数値を比較し、一番大きい数値を「最大の値は○です」の○に当てはめて画面に表示しなさい。また、3 つの値が全て同じである場合は「同じ値です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

整数値を 3 つ入力してください

1 つ目の整数値 : 1

2 つ目の整数値 : 2

3 つ目の整数値 : 3

最大の値は 3 です

**【実行例 2】**

整数値を 3 つ入力してください

1 つ目の整数値 : 1

2 つ目の整数値 : 1

3 つ目の整数値 : 1

同じ値です

以下の実行例を参考に、入力された2つの得点を比較し、得点の大きい方から順に得点を画面に表示するプログラムを作成しなさい。ただし同じ得点である場合は、得点を一つだけ画面に表示しなさい。

**【実行例 1】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

1 つ目の得点 : 79

2 つ目の得点 : 93

93

79

**【実行例 2】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

1 つ目の得点 : 80

2 つ目の得点 : 80

80

以下の実行例を参考に、入力された国語の得点が 80 以上であれば、次に英語の得点を入力させなさい。国語の得点が 80 未満であれば、数学の得点を入力させなさい。英語、又は数学の得点が 80 以上である場合、「合格です」と、そうでない場合は「不合格です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

0～100 までの国語の得点（整数値）を入力してください:75

0～100 までの数学の得点（整数値）を入力してください:56

不合格です

**【実行例 2】**

0～100 までの国語の得点（整数値）を入力してください:81

0～100 までの英語の得点（整数値）を入力してください:90

合格です

以下の実行例を参考に、入力された2つの得点がどちらも80以上である場合、「合格です」と、1つでも80以上である場合、「補欠合格です」と、それ以外は「不合格です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

1 つ目の得点 : 87

2 つ目の得点 : 81

合格です

**【実行例 2】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

1 つ目の得点 : 87

2 つ目の得点 : 43

補欠合格です

**【実行例 3】**

0～100 までの得点（整数値）を2つ入力してください

1 つ目の得点 : 78

2 つ目の得点 : 43

不合格です

以下の実行例を参考に、入力された整数値が正の数の場合は「正の数です」と表示し、負の数だった場合は「負の数です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。ただし、入力された値が0である場合には、何も画面に表示しないようにしなさい。

**【実行例 1】**

整数値を入力してください:54

正の数です

**【実行例 2】**

整数値を入力してください:-4

負の数です

**【実行例 3】**

整数値を入力してください:0



以下の実行例を参考に、入力された 3 教科の合計点数が 230 点以上である場合、「合格です」と、230 点未満でも合計点数が 210 点以上で 3 つの得点のうち、いずれか一つでも 85 点以上である場合も、「合格です」と画面に表示しなさい。そうでない場合は「補講対象です」と画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【実行例 1】**

3 つのテストの得点（整数値）を入力してください

1 つ目の得点 : 90

2 つ目の得点 : 87

3 つ目の得点 : 81

合格です

**【実行例 2】**

3 つのテストの得点（整数値）を入力してください

1 つ目の得点 : 90

2 つ目の得点 : 76

3 つ目の得点 : 56

合格です

**【実行例 3】**

3 つのテストの得点（整数値）を入力してください

1 つ目の得点 : 77

2 つ目の得点 : 60

3 つ目の得点 : 65

補講対象です

以下の実行例を参考に、0~9 までの乱数を 4 個発生させて以下の計算式に当てはめて画面に表示した後、計算した結果の予想をユーザに入力してもらい、入力された値が正解か不正解かを画面に表示するプログラムを作成しなさい。

**【計算式】**

1 つ目の数値 + 2 つ目の数値 × 3 つ目の数値 - 4 つ目の数値 =

**【実行結果】 正解の場合**

6 + 9 × 5 - 2 =

計算結果は? : 49

正解です！

**【実行結果】 不正解の場合**

5 + 3 × 4 - 9 =

計算結果は? : 7

不正解です。正解は 8 です。